

なごや市会だより

広報

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和5年(2023年)6月 第185号

2月定例会特集号

2月定例会は、2月17日から3月16日までの28日間にわたって開かれ、令和5年度予算などの市長提出案件67件、議員提出議案7件についての審議などを行いました。

名古屋市会



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

2月定例会の日程(概要)

開会	2/17 本会議	2/24 本会議	2/27~3/1 常任委員会	3/2~7 本会議	3/8~15 常任委員会	3/16 本会議	閉会
	市長提出案件について市長より提案説明など	個人質疑(→詳細は、3面)	令和5年度予算に関係のない案件について審査	代表質問・個人質問(→詳細は、2・3面) 令和5年度予算に関係のない案件について議決など	令和5年度予算及び関連議案などについて審査	令和5年度予算及び関連議案などについて議決	

令和5年度予算を可決(2兆8,117億円)

■「令和5年度名古屋市一般会計予算」はじめ令和5年度各会計予算16件については、いずれも全会一致または賛成多数により原案どおり可決しました。

▶「令和5年度名古屋市一般会計予算」については、採決に先立ち、共産から反対討論(理由:市長のこだわる金持ち優遇の市民税減税を漫然と続け、市民サービスを低下させ、将来にわたって過大な負担を負わせる数々の大型事業を行おうとする予算であること。)が行われました。

会計名	説明	5年度予算額	対前年度比
一般会計	市税を主な財源とし、福祉、教育、道路・公園の整備など市政の基本的な事業を行っている会計	1兆4,120億円	+2.4%
特別会計	保険料など特定の収入によって特定の事業を行っており、一般会計と区別して経理する会計	9,852億円	+2.8%
公営企業会計	上下水道、市バス、地下鉄事業など、主にサービスを受ける方からいただいた料金で運営している会計	4,144億円	+4.4%
合計		2兆8,117億円	+2.8%

令和5年度予算の内容について

■成立した令和5年度予算の主な施策は次のとおりです。(1万円未満は四捨五入しています。)

新型コロナウイルス感染症対策に関する予算(574億9,765万円)

ウィズコロナに向けた新たな段階に移行する中、保健医療体制の強化・重点化を進めるとともに、感染拡大の防止と社会経済活動の両立を図ります。

自宅療養者等への医療提供事業(118億7,542万円)

自宅療養者等に必要な医療の提供を行うため、電話診療、外来診療、往診、訪問看護等を行った医療機関等に対して補助金を交付

地域経済活性化促進事業(92億2,757万円)

消費喚起及びキャッシュレス決済の利用促進による地域経済の活性化を図るため、紙及び電子のプレミアム付商品券を発行

物価高騰対策に関する予算(100億98万円)

エネルギー・食料品等の価格上昇に対する負担軽減や品質確保を図るため、小・中学校等における給食の食材費の支援等を行います。

水道事業会計及び下水道事業会計への電力費高騰対策補助金(19億円)

昨今の急激なエネルギー価格の上昇を踏まえ、通常の上昇幅を超える電力費の増加額に対する支援を実施

学校給食費に係る物価高騰対応支援(7億8,410万円)

急激な物価高騰の中でも、保護者負担を増額せずに現在の給食の水準を維持するため、高騰する食材費の増額分を支援

その他の主な新規施策

市民の福祉と健康

みらい光生病院(旧厚生院附属病院)への交付金等(19億3,175万円)

市立大学医学部附属病院として開設するみらい光生病院の病院運営に必要な経費に対する交付金等

都市の安全と環境

消防団詰所の整備(4億1,708万円)

必要な耐震性を有するとともに、継続的・長期的な活動を可能とするスペースや女性団員に配慮した設備を有する消防団詰所を整備

市民の教育と文化

キャリア教育推進センター(仮称)の開設(2,000万円)

自分らしい生き方を発見し、実現するための力を育むキャリア教育を効果的に実践していくためのサポート機関としての「キャリア教育推進センター(仮称)」を開設

市街地の整備

子どもを守る交通安全対策(5,000万円)

通学路の更なる安全対策検討会における検討結果を踏まえ、交通安全対策を実施

市民の経済

中小企業デジタル活用支援事業(4,800万円)

中小企業の経営基盤の強化を図るため、経営課題の解決に資するデジタル技術の活用を支援

人権と市民サービス

千種区役所の改築(2億6,762万円)

千種区役所について、土木事務所など周辺公共施設との複合庁舎として、改築を実施

■「名古屋市職員退職手当基金条例の制定について」など20件については、いずれも全会一致または賛成多数により原案どおり可決しました。

提出案件の賛否については、2・3面をご覧ください。

会派の略称説明

自民 自由民主党名古屋市議員団
共産 日本共産党名古屋市議員団
未来 名古屋未来

民主 名古屋民主市会議員団
とも ともにネットワーク
維新 日本維新の会名古屋市議員団

公明 公明党名古屋市議員団
ナ教 ナゴヤの教育を良くする会
無会 無所属の会

減税 減税日本ナゴヤ
ラナ ラ・ストラダ ナゴヤ
希望 未来の希望

令和5年度当初予算および関連議案以外の案件

■「令和4年度名古屋市一般会計補正予算(第8号)」などの補正予算6件については、いずれも全会一致または賛成多数により原案どおり可決しました。主な内容は以下のとおりです。(1万円未満は四捨五入しています。)

→「令和4年度名古屋市一般会計補正予算(第8号)」については、採決に先立ち、共産から反対討論が行われました。

国の経済対策等に伴う補正

その他

校舎等のリニューアル改修 (90億4,687万円)

校舎等の屋上防水工事、内装・外壁改修、トイレ改修等

学校トイレの環境改善 (33億3,188万円)

学校トイレの洋式化等

アジア・アジアパラ競技大会 基金の積立(20億円)

第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会を開催する資金に充てるための積立

ふるさと寄附金返礼品提供事業 (15億6,200万円)

寄附金の増に伴う返礼品の提供に係る経費の増による補正

■「名古屋市エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例の制定について」など23件については、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。

■《承認案件》「訴えの提起に関する専決処分について」は、賛成多数により承認しました。

■《人事案件》「教育委員会の委員選任について」は、全会一致により同意しました。

議員提出議案

■「名古屋市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正について」(自民・民主・公明提案)は、賛成多数により原案どおり可決しました。

令和5年3月31日をもって議員報酬の減額の期限が切れることから、当分の間、政令指定都市中最大の削減率となる15%の減額を特例値として継続するものです。

■「名古屋市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について」(減税提案)は、上記の「名古屋市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正について」が可決したことにより議決不要と決定しました。

民意による成案を得るまでの間、議員報酬(特例値)を800万円とするものです。

※上記2件については、採決に先立ち、減税と維新から以下の立場で討論が行われました。

減税

賛成…減税提案

反対…自民・民主・公明提案

維新

反対…自民・民主・公明提案、
減税提案



意見書・決議

以下の議員提出議案4件については、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。

●産前子育て教室等の推進に関する意見書

希望する全ての人々が、産前から親になるための子育てを学ぶことができるよう、産前からの子育て教室の拡充等さらなる子育て支援の推進に資する施策を講ずるよう強く要望するものです。

●農業水利施設の維持管理強化に関する意見書

市民生活を守る農業水利施設に対する維持管理の強化に資する措置を講ずるよう強く要望するものです。

●鉄道駅バリアフリー化の強力な推進を求める意見書

鉄道駅におけるバリアフリー化をさらに加速させ、交通弱者対策の強力な推進を図るよう強く要望するものです。

●知的障害行政・手帳制度に関する国の対応拡充を求める意見書

知的障害行政・手帳制度を法律による全国共通の施策として展開するよう強く要望するものです。



意見書の全文は市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。

●減税日本ナゴヤ提案によるふじた和秀議員に対する議員辞職勧告決議案は、賛成少数により否決(賛成…減税、無会 反対…自民、民主、公明、共産、ともに、ナ教、ラナ、未来、維新、希望)しました。

提出案件の賛否については、2・3面をご覧ください。

名古屋港管理組合議会議員の 補欠選挙

会派所属員の異動に伴い、河本ゆうこ議員(希望)が名古屋港管理組合議会議員を辞職したため、2月24日の本会議において、名古屋港管理組合議会議員に中村満議員(公明)を選出しました。

令和5年度の定例会の予定

令和5年度の定例会の予定は次のとおりです。(なお、この予定は変更されることがあります。)

6月定例会

令和5年
6月19日(月)
7月5日(水)

9月定例会

令和5年
9月11日(月)
10月12日(木)

11月定例会

令和5年
11月17日(金)
12月7日(木)

2月定例会

令和6年
2月20日(火)
3月22日(金)

市会だよりにおける視覚障害者対応の充実

●市会だよりの点字版・音声版の申し込みについて、インターネットによるオンライン申請を開始します。

●点字版について、これまでの紙媒体に加え、点字の電子データの提供を開始します。

(点字を表示させるには、専用の機器が必要です。)

詳しくは、名古屋市ウェブサイト(市会情報)に掲載しています。

問い合わせ 名古屋市会事務局調査課 (電話番号:052-972-2094 ファックス番号:052-972-4100)



提供媒体

点字版 紙版・電子データ版

音声版 デイジー版・音楽CD版

編集 後記



編集委員
日比美咲
(民主・名東区)

編集委員長
松井よしのり
(自民・守山区)

編集委員
木下優
(公明・中川区)

編集委員
大田とみひこ
(減税・西区)

議会改革の一環として、市民の皆様にご覧いただけるだけ見やすく、わかりやすい形で市会の情報をお伝えできるような紙面づくりに取り組んでまいります。

これからも市会だよりをご覧いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

編集委員一同

※名古屋市会では、平成23年度から、市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をしていますが、残念ながら、河村市長から「回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある」として、毎月発行化は認められていません。よって、今年度も現時点では年7回の発行を予定しています。